

キャラクター名	プレイヤー名
レナーテ = シュレッター	

<b>種族</b>	ドレイクナイト	<b>種族特徴</b>	暗視、魔剣、飛行、竜化、光のプレス、弱点(魔法+2)		
<b>生まれ</b>	戦士	<b>性別</b>	女	<b>年齢</b>	57歳
<b>冒険者Lv</b>	10	<b>経歴</b>	人族の歴史に興味がある		
<b>経験点</b>	2300		始まりの剣を探している 人族に弱みを握られている		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
<b>技</b>	12	器用度	5	8	6	31	5	ファイター	10		
		敏捷度	5	11	6	34 + 2	6	ソーサラー	5		
<b>体</b>	15	筋力	8	9	12	44 + 2	7	レンジャー	9		
		生命力	6	12		33	5	エンハンサー	9		
<b>心</b>	5	知力	17	5	6	33	5	ウォーリーダー	5		
		精神力	5	7		17	2	フィジカルマスター	5		

戦闘特技			
タフネス	2122p	防具習熟S/金属鎧	1-282p
治癒適性	2122p	命中強化	2-230p
不屈	2123p	斬り返し	1-286p
ポーションマスター	2123p	ブロックング	2-230p
武器習熟A/ソード	1-281p	先陣の才覚	MA24p
回避行動	1-279p		p
マルチアクション	1-292p		p
武器習熟S/ソード	1-281p		p
頑強	1-279p		p
超頑強	2-228p		p
防具習熟A/金属鎧	1-282p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔法文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	怒濤の攻陣Ⅱ・烈火
マッスルベアー	抗力抗進Ⅰ
ビートルスキン	怒濤の攻陣Ⅲ・轟炎
ガゼルフット	掃討の勝鬨
デーモンフィンガー	怒濤の攻陣Ⅳ・輝斬
ジャイアントアーム	抗力抗進Ⅱ
リカバリィ	
スフィンクスノレッジ	
ケンタウロスレッグ	
アンチボディ	
メディテーション	
ストロングブラッド	
軍師の知略	
怒濤の攻陣Ⅰ	

名誉アイテム	点数
防具装飾品専用化	150
栄光の軍師徽章	100
幸運	
あんこく	

名誉点所持 1298 /合計 1548

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	10	15	16	17
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要				
	ランク	筋力	回避力	防護点	
鎧	イスカイヤの魔導鎧			20	7
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				1	3
回避技能	ファイター			合計値	17 13

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
センチネル+1	2H	40	1	2d+ 17	10	21	60										
ドレイクの魔剣				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
蛮族携帯セット	○□□○□□
保存食一週間	○□□○□□
3点魔晶石x125	○□□○□□
トリートポーションx25	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 50750 G 預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	38 m	114 m	2d+ 17	13	110

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	0/X	2d+ 12	2d+ 15 2d+ 14	34

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	5	10			

装備品	説明
頭 軍師徽章	鼓噪の使用に必要
首 ラミアの首飾り	人族の女性に見える幻を纏う
足 その他正しき信念のリング	精神抵抗+2

装備品	説明
左手 疾風の腕輪	

その他メモ	自動失敗チェック
シビラの姉の夫の妹。兄から義妹の元で修行を積んで来いと言われた為、嫌々シビラの傭兵団に来ている。基本的に見下しているが、根が真面目なので訓練は手を抜かず、自分達と人族の差を見せつけるかのように行う。当然団内では非常に不評。兄と同じく神になる為に密かに始まりの剣を探している 人族の歴史を紐解けば弱点がわかり、自分達の勢力が世界を支配できると考えている。なので王国の図書館にて人目を忍び、勉強しているのだが、それをアントネラに「人族と調和する為」と勘違いされ、正直に言えないまま恋バナや買い物に付き合わされている ちなみに本人はダルクレム信仰なのだが、ここでバレるとロベルトから容赦ない制裁を受ける為、自分の聖印は兄に預け、本人はシュタール同様信仰を捨てたと周囲に伝えている この度実力が評価され、幹部に昇格。しかし、相変わらず人族よりの思考をしていないので地位を認められておらず、イレブン傭兵団が独自に開発・販売している装備品や魔法道具を購入できないでいる。本人はそんなものに頼らずとも自身は強く、負けるわけがないと豪語している	○□□□⑤ ○□□□⑩ ○□□□⑱ ○□□□㉔ ○□□□㉘ ○□□□㉚ ○□□□㉜
B88 Dカップ	○□□□⑤